
会 議 報 告

事業名	新型コロナウイルス対策本部会議（第10回）		
日時	令和2年5月19日（木）13：30～	場所	本庁2階 大会議室
出席者	【三役】（本部長）座間味秀勝、（副本部長）神里敏明、新崎直昌		
	【総務課】金城満、小久保栄太郎、西田大河【観光産業課】玉城広喜		
	【民生課】新垣聡、神田沙也加、尾崎リサ 【会計課】宇野昭子		
	【教育委員会】小嶺国土 【船舶課】我喜屋元作		
	【議会事務局】新里武広 【渡嘉敷診療所】山城啓太		
	【交流の家】新田宗宏 【村議会議長】玉城保弘		
	【商工会関係】新垣徹、平田春吉 （計18名参加）		
会議内容	<p>1. 6/1以降の船舶の運航体制の延長について</p> <p>： 6/1以降の船舶については、段階的に解除する方が良いのではないかと。乗船客の人数を制限し、日帰りは対応せず、宿泊客のみ乗船対応するなどの制限を設けるべきか検討したい。</p> <p>宿泊客については、宿泊施設から連絡先等を調べる事は可能だが、日帰り観光客については情報が無いと、感染者が出た場合にロックダウンせざるを得ない状況になるのではないかと。</p> <p>商工会会員に船舶状況について、ヒアリングを行って欲しい。</p> <p>： 商工会会員は、6/1から通常通り営業していく考えである。ただし、日帰り対応は検討せず、宿泊のみの考えである。</p> <p>阿波連地区の飲食店は、村民だけでは客数に限界があり、日帰り観光出来ない状況の場合に営業状況が心配である。</p> <p>段階的に運航体制を変更するのは賛成であり、選挙前は観光客の動きも少ないと考慮し、6/14の第2週まで運行に制限をかけ、それ以降は通常の運航状況に戻してはどうか。</p> <p>： 飲食店は日帰り観光客がいないと経営が成り立たない。宿泊客のみだけ乗船可能ということは、止めてもらいたい。</p> <p>【今後の船舶体制についての決定事項・検討事項】</p> <p>① 5/28までの感染状況によって、6月以降の船舶運航体制（フェリー・ライナー）を決定する。</p> <p>② 乗船定員を設けるかどうかの判断についても、検討する。</p>		

2. 臨時便について

- : 5/16 の臨時便の前日に、アンケートが実施されていたという情報を聞いたが、どういうことか。課長級でも、知らない人が居た中で、村民から聞かれる事があった。
- : 私が一部の村民へアンケートを実施した。急遽、臨時便の対応となったため、時間が無くて各課に知らせることが出来なかった。
座間味村が毎週火曜日に島発 9 時に出航し、村民が日帰り出来るよう取り組んでいたため、本村も臨時便を対応する運びとなった。
- : 事前に情報が欲しかった。放送 1 回のみでは、気付かない人も居て、スケジュール調整が出来ないため対応しづらい。
また、臨時便について土・日・祝祭日は公的機関が休みであることが多いので、平日に実施して欲しい。可能であれば、平日と土日の 2 日間はどうか。
- : 5/28 (木) の平日に、臨時便を出す方向で対応していく。詳細については、決まり次第お知らせする。
- : 診療所としては、現在通院を必要としている人の対応は出来ていて、船便については問題無い。島民が日帰り出来る状況であれば、週 3 回の対応でも通院しやすい環境になる。

3. 放送について

- : 特定の人が那覇に出るのを見かけたが自粛するべきではないのかという意見が入ってきた。人によって不要不急の要件が異なるので、現在の放送内容について、変更すべきではないか。例えば、「自分が感染者にならないようにして下さい。」と言うような文言に変更出来ないか。
- : 日帰りが出来る環境で、自粛要請が出ている場合に、いつまで外出を我慢しなければならぬのかという意見も聞く。
- : 放送内で文言を強めることへの変更は出来かねる。

4. その他

- : 5/18 より日帰り受入している。6 月以降、宿泊の受入対応を行う予定。現在 6 月中の受入事業が 2 つあり、10 名前後の人数である。

5. 次回日程(5/29 実施予定)